

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和8年4月9日発行

No.1

挨拶

校長 菅原 利晃

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。

附属札幌中学校は、4月9日に始業式、本日に入学式を無事に終え、全校生徒323名、教職員39名でスタートいたしました。本年度も、本校に通う子どもたちのために、教職員一同、一丸となって精一杯努力して教育にあたる所存です。どうぞ、保護者の皆様の温かいご理解と、ご協力、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



式辞

日ごとに春の訪れが感じられるこの佳き日に、北海道教育大学附属札幌中学校に入学を許可された107名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

来賓の方々、ご多用の折、ご臨席賜り誠にありがとうございます。常日頃より、ご支援・ご協力をいただいていること、心より感謝申し上げます。

この三月まで小学生だった皆さんですが、今日から中学生になります。きっと期待と不安で胸をふくらませていることでしょう。心からお祝いの気持ちを伝えたいと思います。

附属札幌中学校は、80年の長い伝統を持ち、これまで9523名の卒業生を輩出してきました。「清新」「進取」「斉(せい)正(せい)」「親和」という四つの目標、すなわち、清く正しく、積極的に、礼節を重んじ、仲間を大切にするという志を胸に、数多くの先輩たちがこの学校で育って行きました。皆さんの三年間が豊かな学びと出会いに満ちた日々となるよう、心から期待したいと思います。

さて、今日、皆さんは新しい一歩を踏み出しました。

中学校生活という、新しい「はじまり」です。

「はじまり」という言葉について、嵐の二宮和也さんは、著書『独断と偏見』に、「はじまり」の定義、意味として、次のように述べています。

「始めるのは早いほうがいい。けれど、始めるタイミングは人それぞれで、そこに正解も不正解もない。」

そしてさらに、こう続きます。

「いろいろな人が助けてくれたり、いろいろな出会いがあったりして、自分らしいスタートになった。」

この言葉には、大切な意味が込められていると思います。

中学校生活を始める皆さんも、それぞれ違う思いで今日を迎えていることでしょう。

楽しみにしている人もいれば、少し不安を感じている人もいるかもしれません。

けれども、スタートの仕方は一人ひとり違ってよいのです。

何かを始めるタイミングにも、歩みの速さにも、決まった正解はありません。

大切なのは、ここから始まる日々の中で、家族はもちろん、友達や先生、先輩と出会い、支え合いながら、少しずつ自分の歩みをつくっていくことです。

中学校には、学ぶこと、挑戦すること、仲間と力を合わせることなど、皆さんを成長させてくれる多くの機会があります。

勉強も、学校行事も、友だちとの関わりも、最初からうまくできる必要はありません。

「やってみよう」と一歩踏み出すことが、すべての始まりです。

そしてその一歩は、決して一人だけで歩むものではありません。

附属札幌中学校には、皆さんを支え、励まし、共に学び合う多くの仲間と先生がいます。

附属札幌中学校は、「あいにあふれた学校です」

「あい」と言うのは、もちろん「あいの里」の意味もあります。愛情あふれる先生方が多いのはもちろんです。

「あいにあふれる」というのは、例えば、学び合い、授業では、考えを話し合い、意見を聞き合い、分からないことを確かめ合いながら学びを深めていきます。それらの「～あい」です。

藤(ふじ)華(はな)祭・学校祭をはじめとする行事では、力を出し合い、役割を担い合い、心を合わせ合いながら、一つの達成を目指します。

学校生活の中では、喜びを分かち合い、ときに失敗を認め合い、困ったときには助け合います。

こうした「～合い」の積み重ねが、「自分は仲間の中にいる」「人と関わることで、自分は大きくなれる」という確かな実感につながっていきます。どうか安心して、皆さんらしい「あい」のある「はじまり」をつくってください。

保護者の皆様、お子様のご入学まことにおめでとうございます。心からお祝いの気持ちをお伝えしたいと存じます。私どもは微力ではありますが、お預かりしたお子様が、たくましく成長するよう、全力を尽くしてゆく覚悟であります。

保護者の皆さまにとっても、中学校生活は、お子さまが大きく変化し、成長していく大切な時期です。

本校では、ご家庭と学校が思いを共有し合い、情報を伝え合い、悩みを支え合いながら、子どもたちの育ちを共に見守っていきたいと考えています。

どうぞ、本校の教育にご理解を頂き、ご協力、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

新入生の皆さん。

これから始まる中学校生活で、ぜひ多くの「～合い」を経験してください。ニノさんが言っていたように、「いろいろな人に助けられたり、助けたりして」つまり、助け合って、「自分らしいスタート」を切りましょう。

結びになりますが、新入生の皆さんの充実した中学校生活と健やかな成長を祈念し、式辞といたします。

人と学ぶ意味

副校長 中村 隆城

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。あわせて、保護者の皆様、お子様の御入学おめでとうございます。教職員一同、お子様の入学を心待ちにしておりました。

また2年生、3年生の保護者の皆様、御進級おめでとうございます。雪深いこのあいの里地区の雪解けも進み、温かな陽ざしが確かな春の到来を教えてくれるこの季節は何か新しいことが始まるという予感とともに、心弾むような思いを抱えていることと思います。そして、いよいよ、明日から本校での学びが始まります。

この数年で「人」台端末の整備が急速になされ、生成 AI の普及も相まって、生徒が日常的に ICT を活用する時代となりました。こうした中で改めて考えたいのが、人はどうして人と学ぶのか、という問いです。実はこの問いは既に 50 年も前から教育学者の中では議論されていたようです。機械は知識を効率よく伝えることができても、それだけで学びが成立するわけではないと私は考えます。人の学びは「なぜそうなるのか」「どのような場面でこの学びは生きるのか」といった文脈や意味付けの中で深まっていきます。ICT を否定するわけではありませんが、それを使うだけで理解が深まるわけではありません。仲間との学び合いや試行錯誤を通してこそ自分のものとなるのです。本校では ICT を活用しつつも、生徒たちが意味を考え、納得しながら学ぶ過程を大切に参ります。このような時代だからこそ、学校で学ぶ意義や価値を改めて問い直していかなければなりませんし、その答えは生徒から遠いところにあってはならないと思っております。

保護者の皆様におかれましては、PTA 活動や後援会活動をはじめ、様々な場面において本校の教育活動へ御支援くださいますようお願い申し上げます。



【令和8年度附属札幌中学校教職員】

校長 菅原利晃
 副校長 中村隆城
 特別支援学級教頭 佐田利典
 主幹教諭 小川原周太（英語）
 特別支援学級主任 菅原祐司（特別支援）
 養護教諭 小山内日和



○第一学年

主任 A組 鹿内法子（技術・家庭）
 B組 大島一晃（社会）
 C組 本間祐希（理科）
 D組 品田由実（特別支援）
 岩本和馬（数学）
 阿部永（美術）
 講師 鳴海あゆ子（国語）
 西田彩乃（英語）
 清田千尋（特別支援）
 平木絢佳（特別支援）
 横道美咲（特別支援）

○第二学年

主任 A組 高橋翔太（国語）
 B組 三上優歩（英語）
 C組 室永瑞貴（理科）
 D組 鈴木理久（特別支援）
 飯嶋孝行（保健体育）
 講師 橋葉子（数学）
 飯田桃香（社会）

○第三学年

主任 A組 山下彩（音楽）
 B組 古川航也（数学）
 C組 本間溪（技術・家庭）
 D組 鈴木日菜（特別支援）
 小笠原太郎（国語）
 稲吉隼人（社会）
 講師 藤谷明日香（保健体育）
 安居泉貴（理科）
 専門員 大久保康德
 事務補 飯田由佳
 校務補 平野裕美
 校務補 長井麻未
 用務員 金巻正志
 スクールカウンセラー 小沼豊
 益子香織
 特別支援教育相談員 小町美羽

【新任の教職員の紹介】

今年度も新しく着任した11名の教職員を迎え、新たな気持ちで教育活動を推進していきます。今後ともよろしくお願いたします。

中村 隆城	副校長	数学科	北都中学校より
本間 祐希	教諭	理科	発寒中学校より
大島 一晃	教諭	社会科	前田中学校より
三上 優歩	教諭	英語科	真栄中学校より
飯田 桃香	講師	社会科	横浜市立西金沢義務教育学校より
西田 彩乃	講師	英語科	北海道教育大学札幌校より
安居 泉貴	講師	理科	北海道教育大学札幌校より
平木 絢佳	ふじのめ講師		獨協大学より
横道 美咲	ふじのめ講師		北海道教育大学釧路校より
長井 麻未	校務補		
小町 美羽	特別支援教育相談員		



本校からの御協力をお願い

例年、年度初めにお伝えしておりますが、以下の内容について改めて保護者の皆様に御確認いただき、御協力をお願いいたします。

本校行事、PTA活動への参画について ～共にあゆむ姿勢を大切に～

本校では、「共創の学校」の理念を大切にし、互いに学び合い、高まり合うことができる場としての学校を目指しています。生徒の学びの姿を中心とし、保護者と教師が同じ方向に向かって子どもたちの成長を見守っていきたいと願っております。お忙しいとは存じますが、学校で行われる様々な活動に積極的に出席していただければ幸いです。保護者と学校が共にあゆむ姿勢を大切にす本校行事、PTA 活動への参画を今年度もお願いいたします。

なお、本校では安全管理の徹底のため、来校者には事務室にて入校手続きをお願いしております。保護者の皆様につきましては、入校証の提示によってその手続きを省かせていただいております。行事や PTA 活動において御来校の際には、入校証を忘れずに御持参ください。

保護者連絡ツール「tetoru」について

本校では保護者連絡ツール「tetoru」を活用し、お子様の欠席・遅刻等の連絡、緊急時等の連絡手段はすべて「tetoru」を利用して行っております。また、学校だより等のお便りの発行につきましても、いわゆる紙ものでの配付を少なくし、「tetoru」を利用して電子データで配信しております。お子様が



欠席または遅刻をする場合、8時20分までに連絡ツール「tetoru」で保護者の方から学校へ御連絡ください。特に本校は広域通学ということもあり、生徒の安全管理を考えますと始業時の登校状況の確認が必要です。朝のお忙しい時間帯とは思いますが、御理解と御協力をお願いします。なお、この時間が過ぎた場合につきましてはお電話で御連絡ください。また、従来通りお電話での連絡も承りますので、御家庭での状況に合わせて御使用ください。

なお、お子様が体調を崩したときなど、学校から早退しなければならない場合につきましては、保護者の方にお迎えをお願いしております。確実に保護者の方と連絡が取れるよう「家庭環境調べ」の保護者の連絡先につきましては、携帯電話等の番号を記載いただければ幸いです。

職員会議・研究日について

基本的に職員会議を月に1回、また、研究日を毎週水曜日に設定しております。特に研究日では、生徒の成長につながる授業や教育課程のあり方などについて全教員が議論を交わし、日々の授業に生かしています。教育研究校である本校の研究推進の中核となる時間となっております。



これらの会議は全職員が集って行っておりますので、毎年、緊急時以外の電話のお取り次ぎは控えさせていただくようお願いしております。保護者の皆様にお

かれましては、趣旨を御理解の上、電話は御遠慮ください。どうぞ御協力をお願いいたします。なお、職員会議日および研究日の日付につきましては、学校だよりや月行事予定表で御確認ください。

個人情報ポリシーに関して御理解・御協力を

生徒および保護者の方々の権利利益を保護するために、「個人情報の保護に関する法律」および関連政省令、指針等に基づき個人情報保護に向けて取り組んでいます。個人情報につきましては、その使用目的の範囲内で収集し、適正な管理と保護に努めておりますことに御理解ください。また、以下の点につきまして御協力をお願いいたします。

研究紀要、学校だより、学年だより、ホームページ等における顔写真の掲載について

本校は研究推進校であり、生徒たちがよりよい学びを進めるための研究に取り組むことが使命の一つとなっております。研究紀要の発行などを通じて全道・全国に発信しておりますが、この時、研究成果を示すために、生徒たちが真剣に学ぶ姿を写真で掲載しております。また、この写真は、学校だよりやホームページ上にも転用されます。代表生徒の作文や、各種大会およびコンクールの結果報告等も含め、生徒たちの学ぶ姿、活動する姿が掲載されることを御承知ください。

なお、学年だよりでは、生徒たちの作文を写真付きで掲載させていただく場合があります。学年だよりは外部には配付せず、該当学年の御家庭にのみ配付するものです。御理解いただければ幸いです。

個人情報に関わる本校の方針と掲載の御依頼をさせていただきましたが、様々な御事情により、顔写真の掲載等に不都合な御家庭がありましたら、主幹教諭（小川原）まで、御連絡いただきますようお願い申し上げます。

いじめ防止基本方針の周知と御協力をお願い

本校では「いじめ防止対策推進法」に基づき、すべての生徒が安心して過ごせる学校づくりに全力で取り組んでいます。また、本校の「いじめ防止基本方針」の詳細は、学校ホームページにて公開しております。ぜひ一度ご覧ください。もしお子様の様子に不安を感じた際は、些細なことでも構いませんので、いつでも学校へご相談ください。

HP:<https://www.hue-fsj.ed.jp/outline.html>

※「学校概要」の一番下のところに本校のいじめ防止基本方針がございます。

■ 基本理念

基本理念いじめの防止等の対策は、次のことを旨として行うものとする。

- (1) いじめが附属学校の全ての児童生徒に関係する問題であることに鑑み、児童生徒が安心して学習やその他の活動に取り組むことができるよう、附属学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにすること
- (2) 全ての児童生徒がいじめを行わず、また、いじめを認識しながらこれを放置することがないようにするため、いじめが児童生徒の心身に及ぼす影響その他のいじめの問題に関する児童生徒の理解を深めること
- (3) いじめを受けた児童生徒の生命及び心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、本学、附属学校、家庭、その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指すこと

本校駐車場の利用について

保護者の方が本校に来校される場合、多くの方が自家用車を使用されています。全校行事や小学校と行事が重なるときなどは駐車場が混雑します。夏季期間（積雪前）の駐車場の利用について以下のようにお願いいたします。

- 警備員や係員の指示に必ず従ってください。
- 図の①、②の駐車場がいっぱい場合は **➡** に沿って通路の左側に寄せて縦列駐車をお願いします。くれぐれも左右両側に駐車しないようお願いします（両側に駐車すると進めなくなります）。
- 縦列駐車がいっぱいになった場合は、大学テニスコート横の③の駐車場を利用してください。
- お帰りの際は矢印の方向に一方通行でお進みください。
- X印及びバスベイには進入・駐車しないようお願いいたします。



冬季期間（積雪時）は、**➡**の部分は通行できません。

そのため、**⇄**の部分を通して③に御移動いただき、お帰りの際も**⇄**の逆方向へ御移動ください。

ただし、**⇄**に沿って駐車することはできませんのでご注意ください。

4月の行事予定

日付	曜日	行事等の予定	下校バス時刻 (予定)
8	水	新任式・始業式	(2年)麻)14:00【優】 栄)14:08【路] (3年)麻)15:40【優】 栄)15:45【路】
9	木	第81回入学式/入学式振り返り/2年・学級開き 3年・学年集会(学年開き)会場片付け	(2・3年)16:20
10	金	1年・学級開き/2年・学年集会(学年開き)/3年・学級開き 2年・学級開き/1年・学年集会(学年開き)	16:20
11	土	部活動不可	
12	日	部活動不可	
13	月	昼)1年・ジャージ引き渡し/委員・専門局員選出	16:20
14	火	学級写真撮影+学級目標決め学活/【職員会議】簡易清掃	15:10
15	水	委員会・専門局会①(三役決め)/【研究日】簡易清掃	16:10
16	木	3年被爆体験講話	16:20
17	金	尿検査1次/授業参観、学級・学年PTA懇談会	14:55
18	土	部活動可	
19	日	部活動可	
20	月	放)承認式リハ	16:20
21	火	合同体位測定オリエンテーション 前期役員委員承認式+委員会・専門局会②	16:20
22	水	合同体位測定(ジャージ登校) 3年全国学調児童生徒質問紙調査 3年全国学調・英語 CBT/【研究日】簡易清掃	16:10
23	木	全国学力・学習状況調査①国語、②数学 教育相談①	16:20
24	金	朝)斡旋教材引き渡し日/教育相談②	16:20
25	土	PTA・ふじづる会総会/PTA学年委員会 PTA常務委員会/PTA・ふじづる役員会	
26	日	部活動不可	
27	月	委員会・専門局会③/教育相談③	16:20
28	火	【研究日】簡易清掃	16:10
29	水	昭和の日	
30	木	歯科検診/帰り学活延長(学習・生活アンケート)	16:20